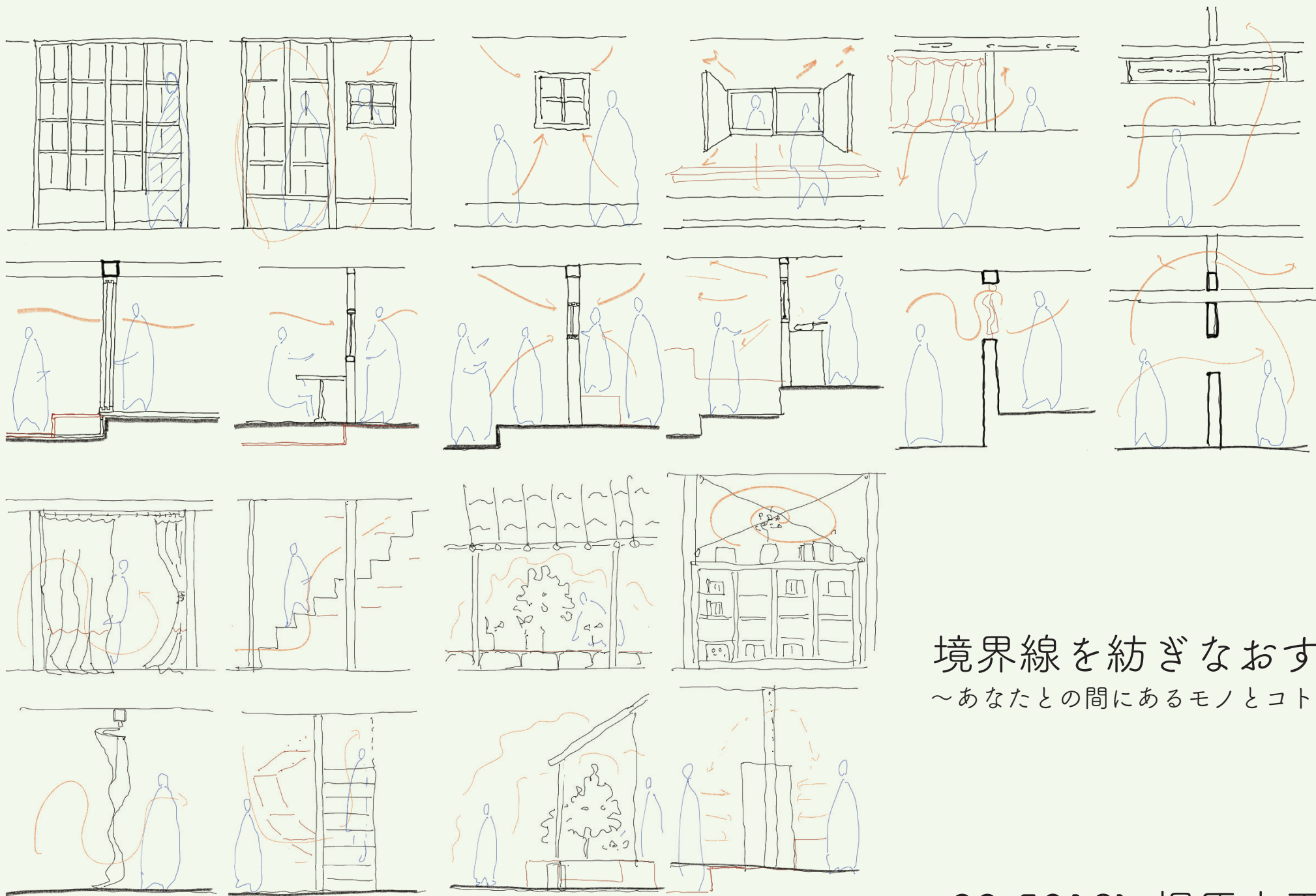




境界線を紡ぎなおす
 ～あなたとの間にあるモノとコト～

22t5018h 梶原杏平

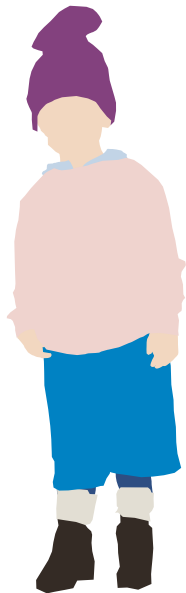
「通常の学級に在籍する

特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査結果

「学習面、各行動面で著しい困難を示す」とされた児童

小・中学校で 8.8%

小学校で 10.4%



学級担任等が回答した内容から、「知的発達に遅れはないものの学習面又は行動面で著しい困難を示す」とされた児童生徒（小学校・中学校：推定値 8.8%）の受けている支援の現状

授業時間以外の個別の配慮・支援を行っているか
（補習授業の実施、宿題の工夫等）



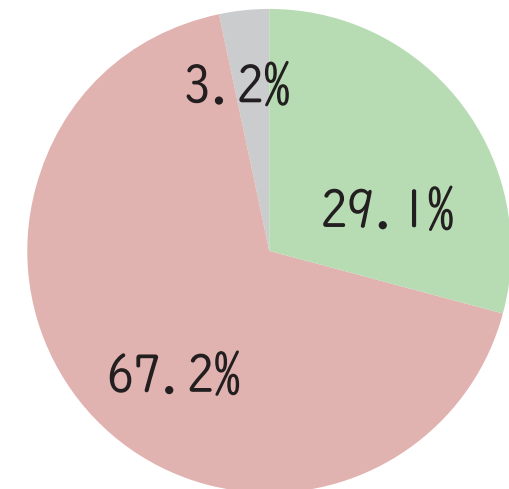
行っていない



行っている



現在は行っていないが過去は行っていた



学級担任等が回答した内容から、「知的発達に遅れはないものの学習面又は発達障害、知的発達の遅れの可能性がある子供（特定値 8.8%）の受けている支援の現状
→理解、認知されている。

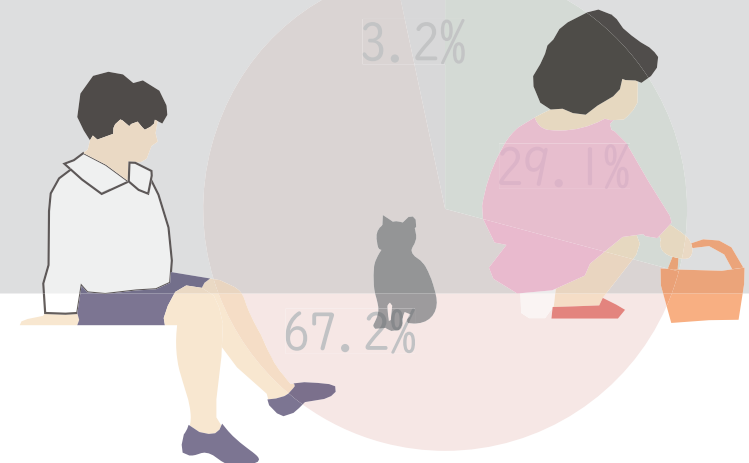
授業時間以外の個別の配慮・支援を行っているか

（補習授業の実施、宿題の工夫等）支援は遅れている。学校以外の教育現場が必要

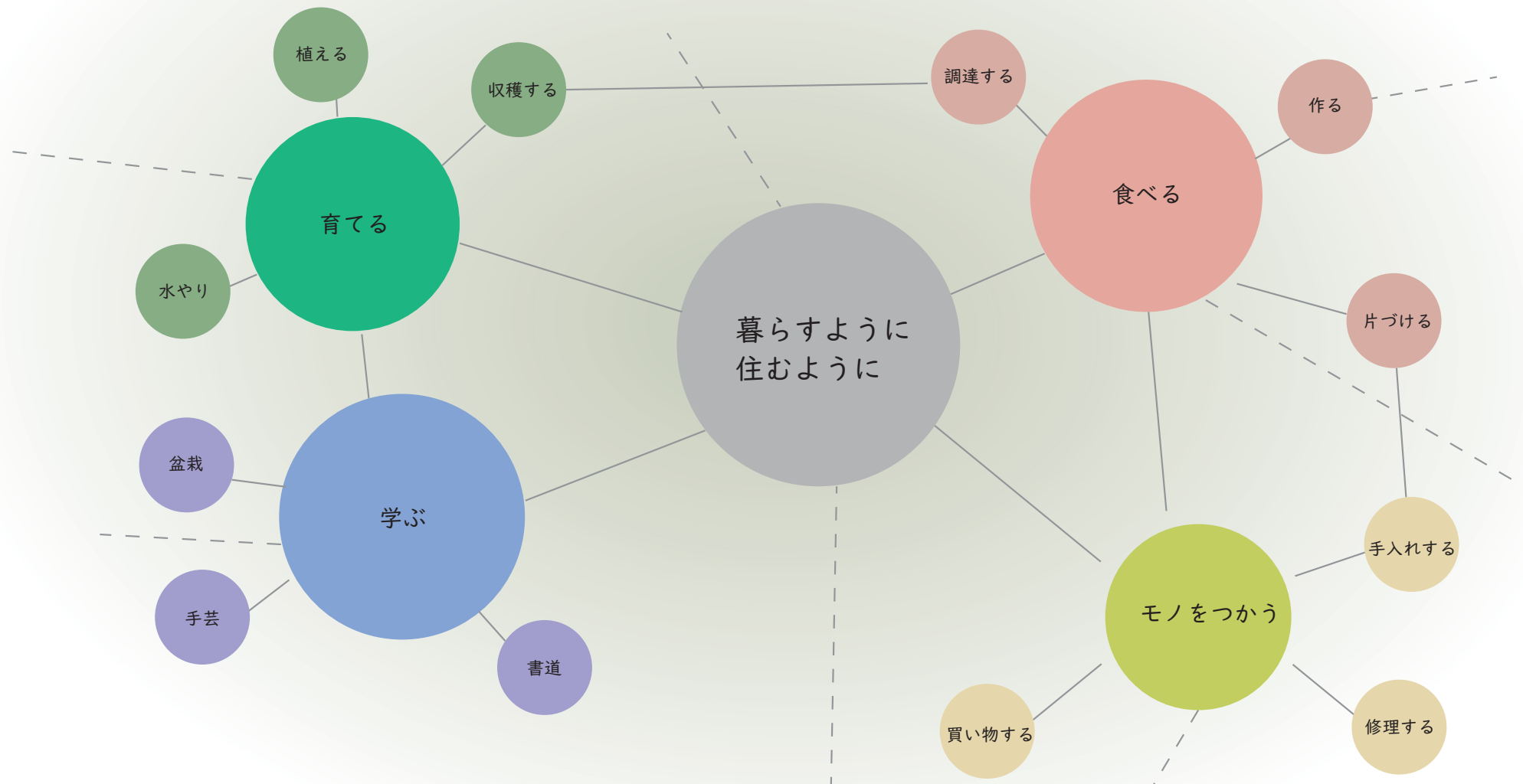
行っていない

行っている

現在は行っていないが過去は行っていた

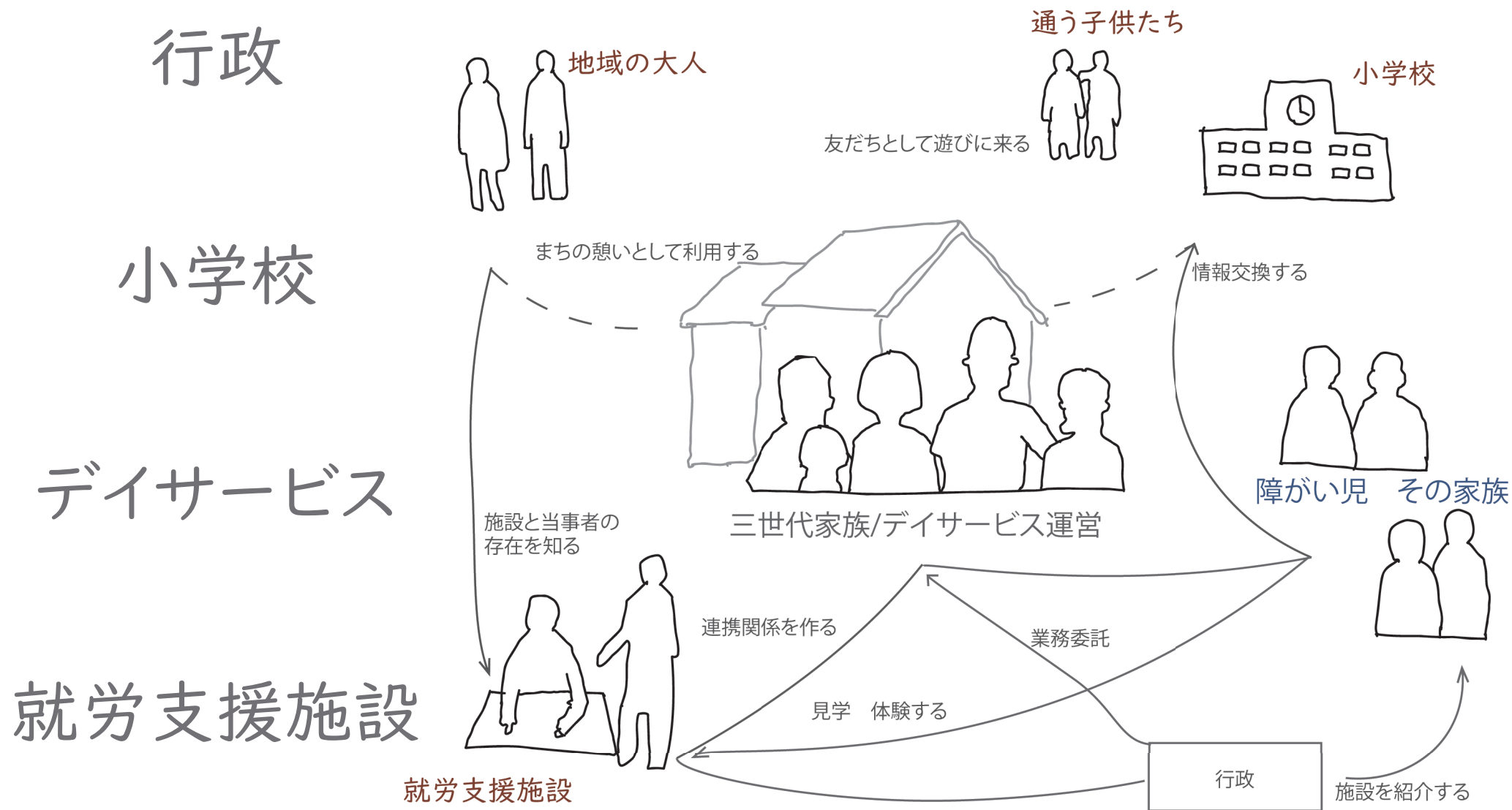


住宅 × デイサービス × 交流館

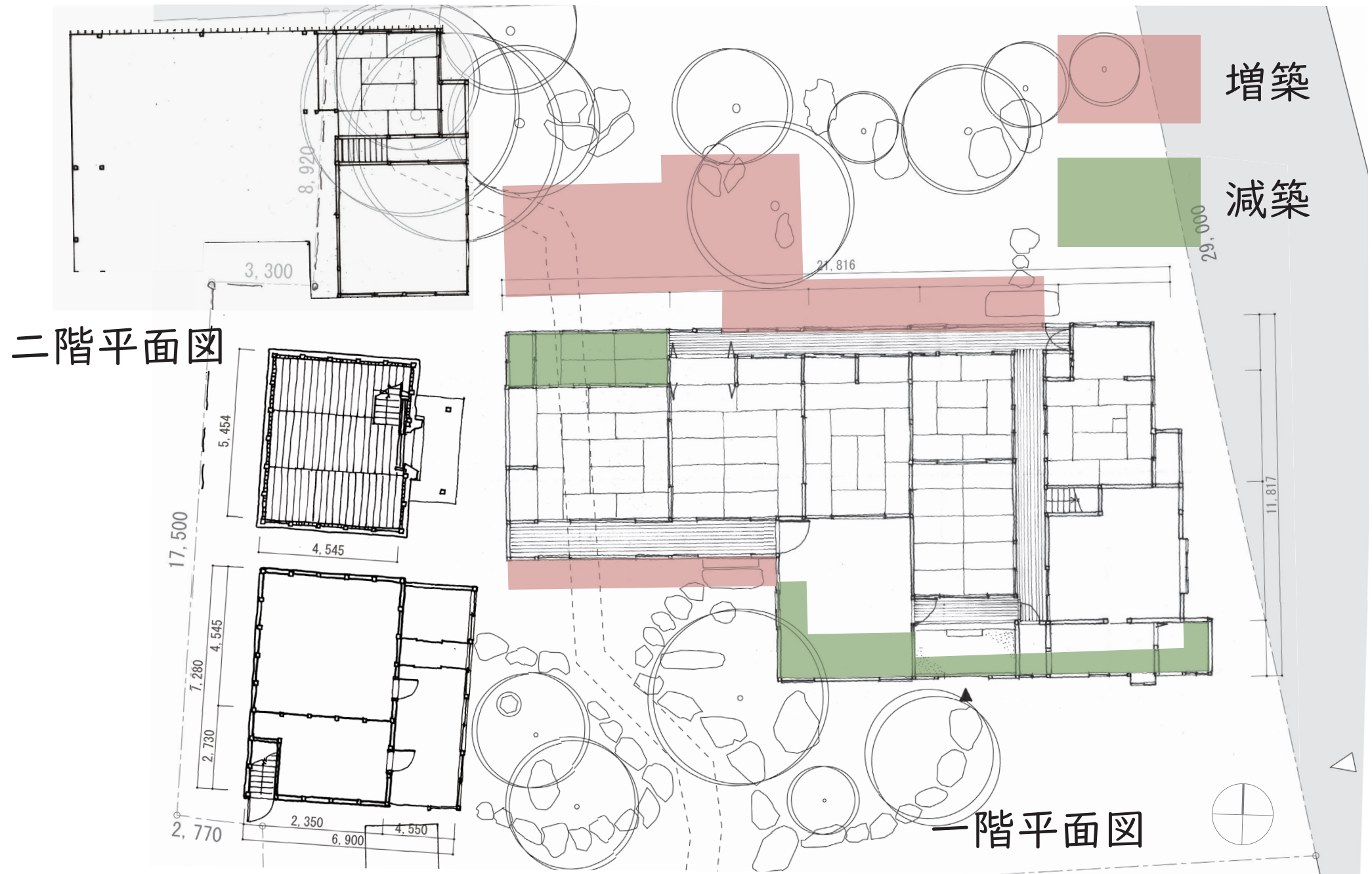


運営方法

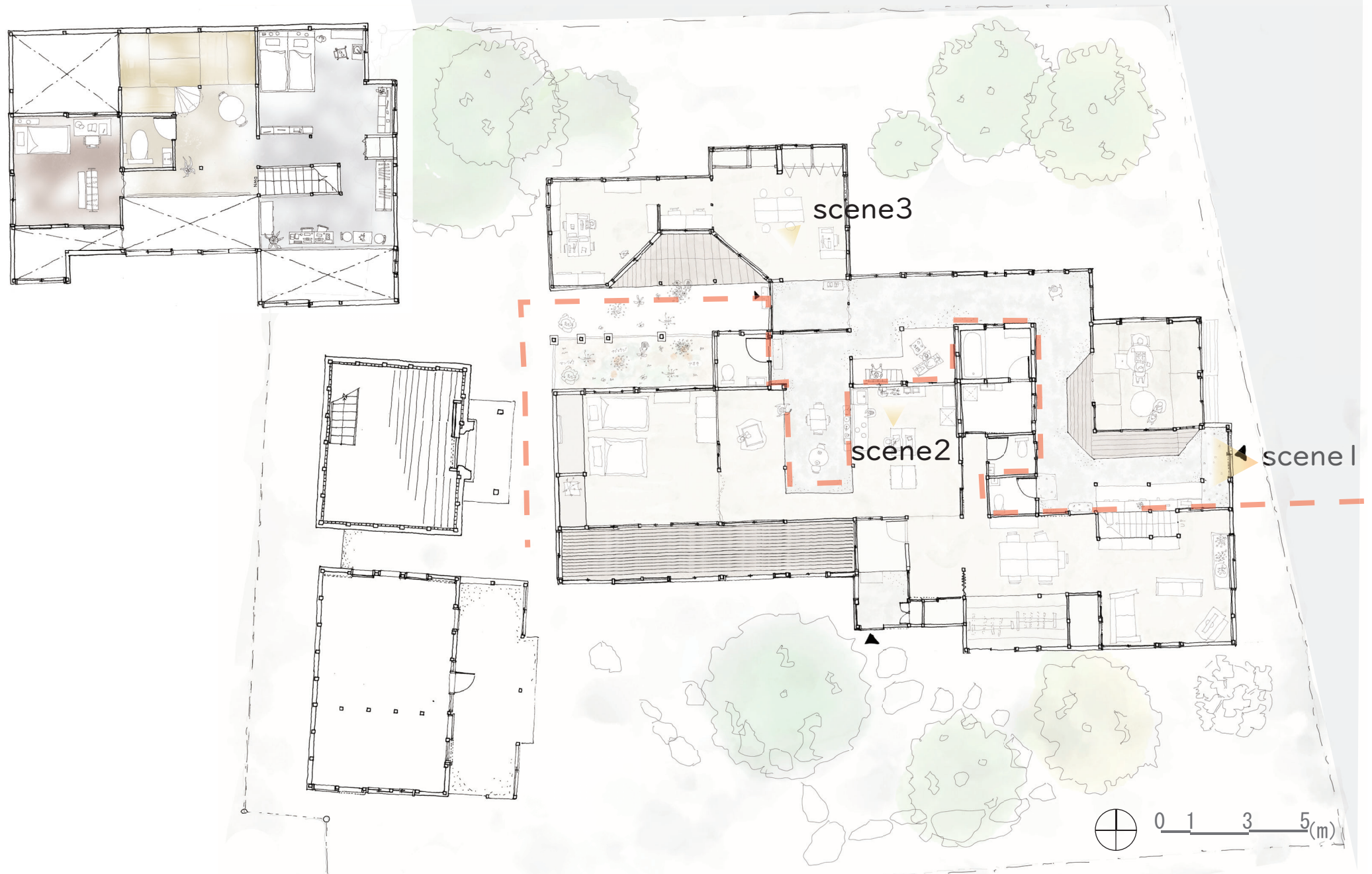
～行政との連携、子供たちの未来へ～



再生前平面図

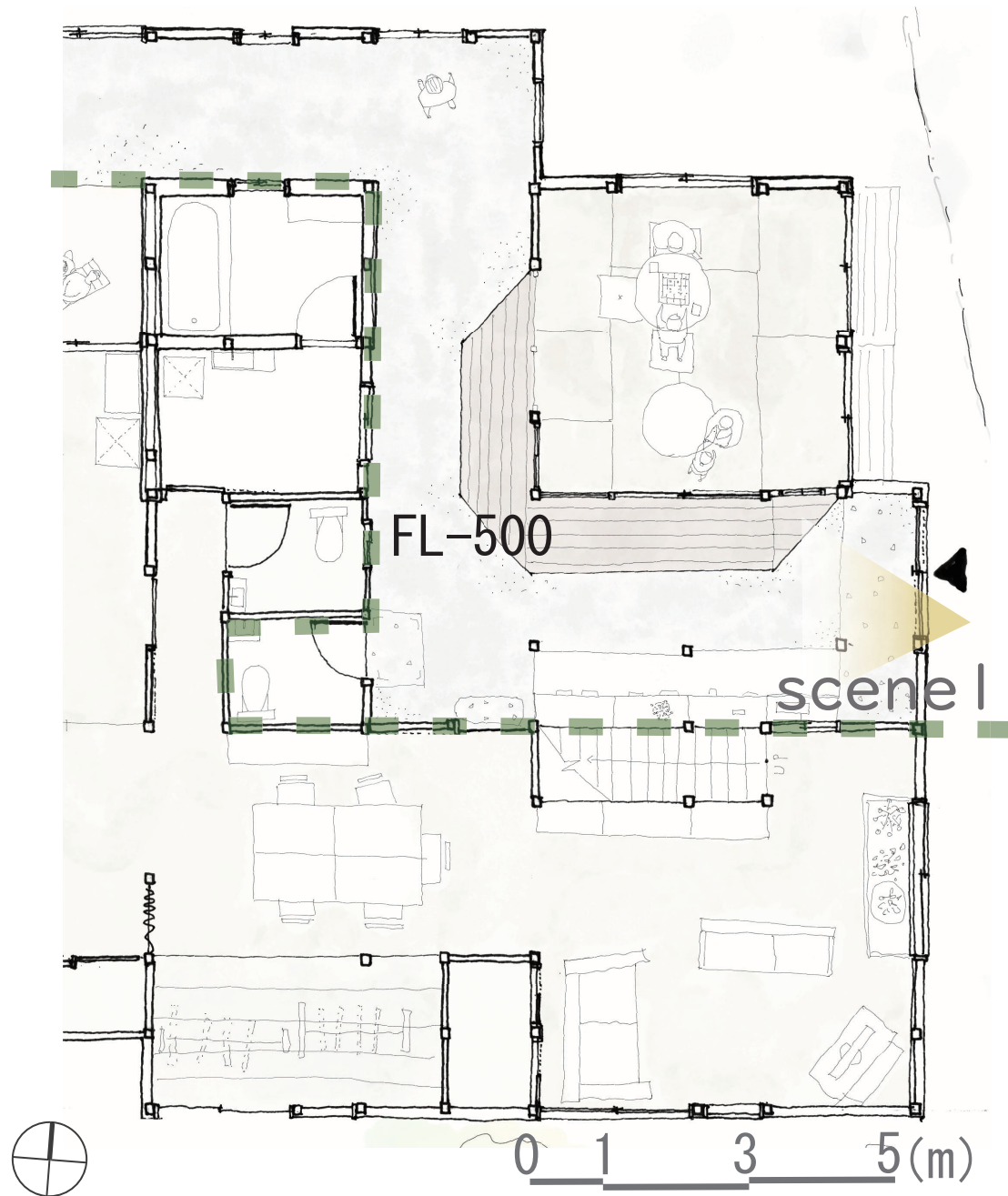


再生後平面図



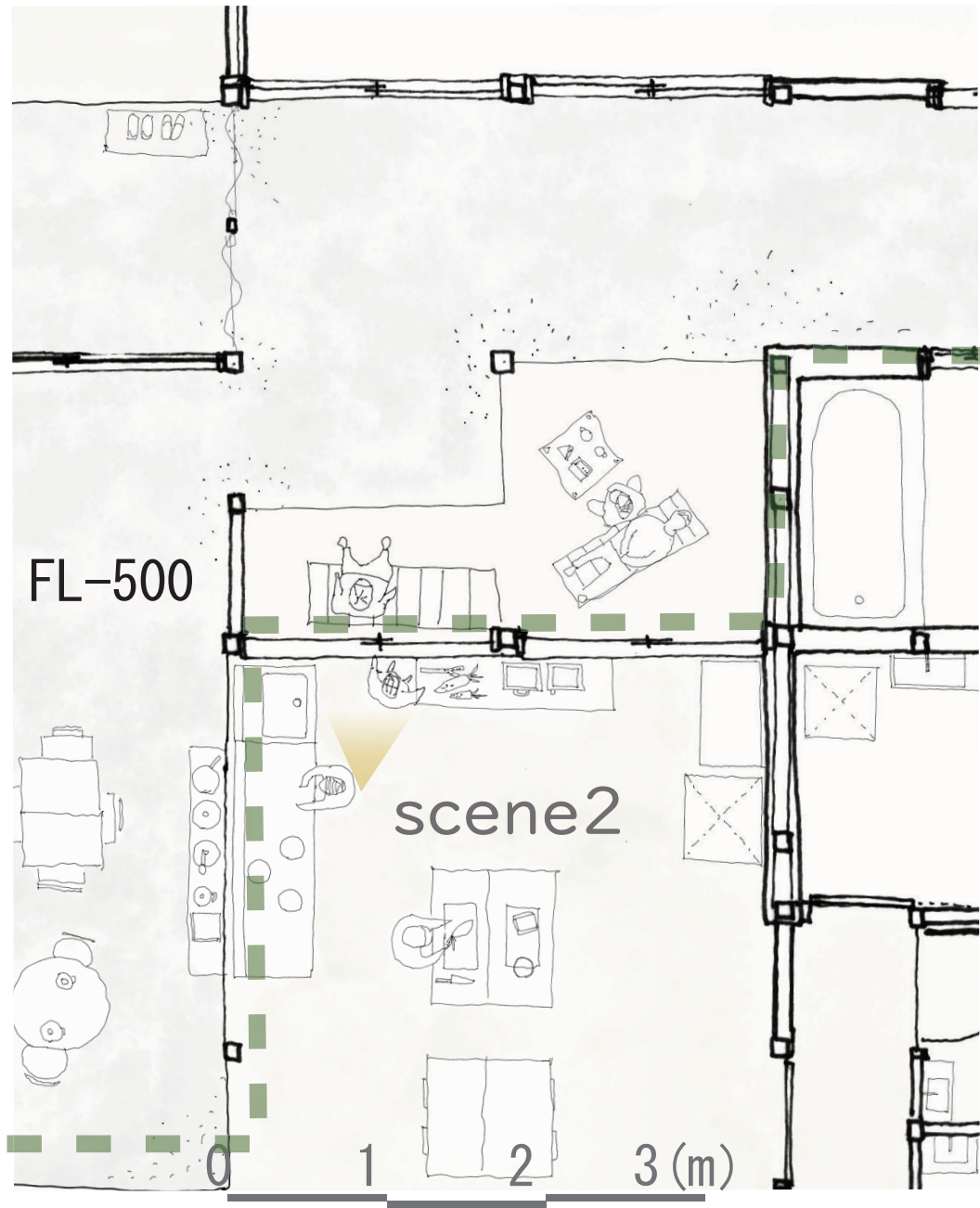
再生設計手法 I

～土間と家具で作る境界～



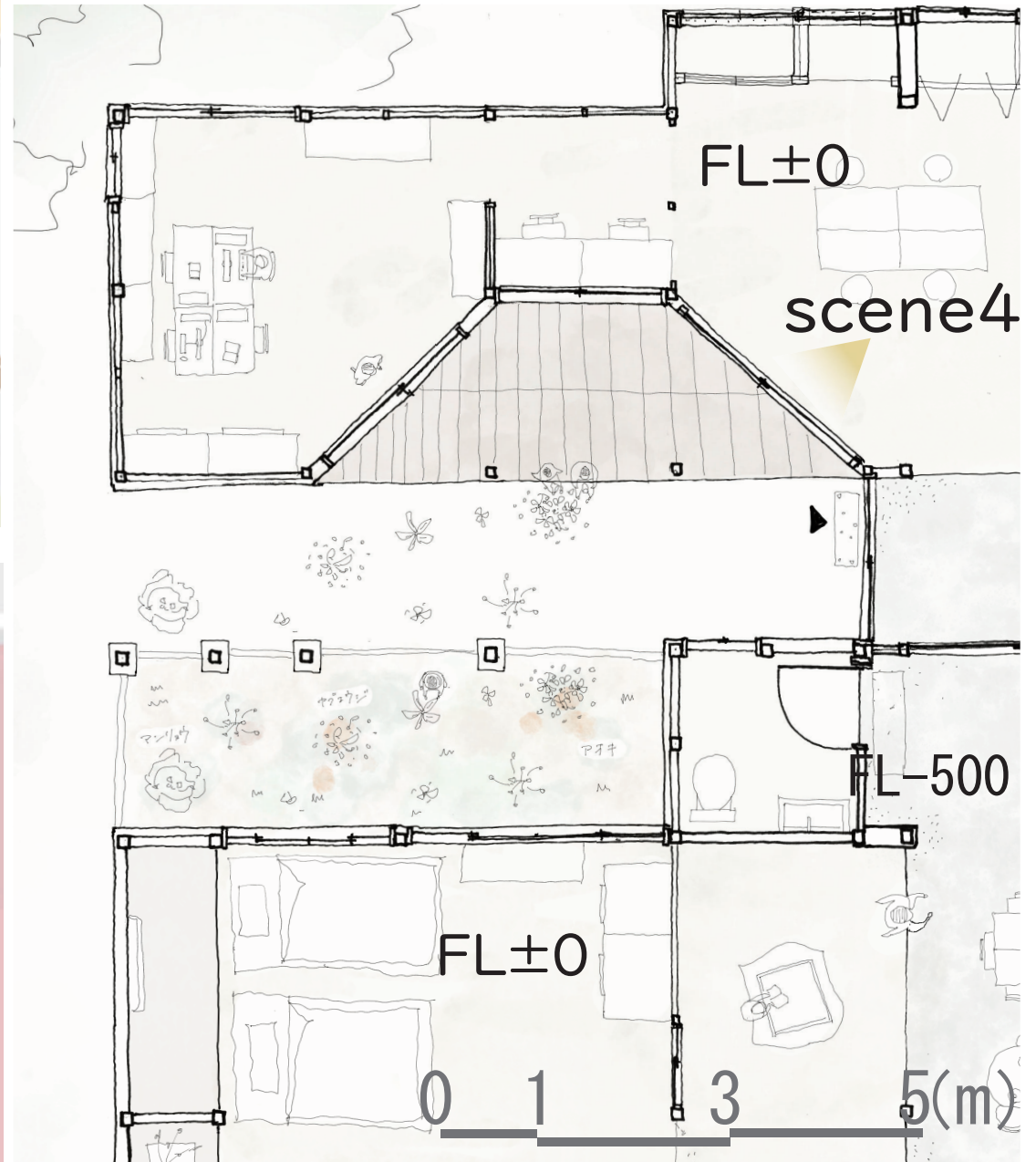
再生設計手法2

～キッチンと板間と土間でつながる境界～



再生設計手法

～濡れ縁と緑でつくる境界～





まとめ



住宅に放課後デイサービスを共存させるためには、様々な境界が存在する。
再生手法として、既存のカタチを残し活用しながらその境界を引いていった。
また須坂市にとってシンボルとなる遺産に放課後デイサービスがあることは、地
域住民の理解増進と子供たちの成長をまちで見守ることができる考える。